



一緒に考えることの大切さ

西中に「居場所」ができて1ヶ月がたちます。全校朝会で「居場所」の話をしたとき、皆さんにお願いをしました。そのお願いをみなさんが守ってくれていることを、とても嬉しく思っています。そのとき、たとえば「包帯」を出しましたね。覚えていますか？その包帯のことを考えていたら、昔行った「道德」の授業を思い出しました。私が「人の気持ちを考える」という道德の授業をしたときの話をします。

「電車に乗って座っていると、その電車に腕に包帯を巻いた人が乗ってきました。みなさんはどんなことを考えて行動しますか？」との問いに「席を譲る」「譲らない」という考えや、なぜそう考えたかなど様々な意見が発表されました。そんなとき一人の生徒が「私は恥ずかしくて声をかけられません。でも席を譲ってあげたいといつも思っています。」と強く訴えました。その発言をきっかけにガラリと授業の雰囲気が変わります。「言えなかったけど私も同じ考えです」「昔、席を譲ろうとしたときに嫌なことを言われたので譲れなくなった。本当は譲りたいのに」等の想いが語られました。ある生徒は「そういうときは一度降りて、隣の車両に行くといいよ。結構成功するよ」と解決法まででてきました。

この授業は計画通りに進まず、授業としては失敗だったのですが、私の心には「こんな授業を計画して、いつもできるようにしよう」となぜか満足感であふれていたのを覚えています。当時の私は、子どもの声や行動を大切にしていると自負していました。しかし、この道德の授業で子どもたちの心の声があることに気づかせてもらいました。一人の生徒が熱い想いを発言したことで。そのとき私は、目に見えるものしか見ていなかったことを反省し、これからは子どもが本当の声をらせる環境を作ろうと誓ったのです。そして、この授業の振り返りでは、多くの生徒から次のような声があがりました。「人の気持ちは行動だけではわからない。わかるためにも今日みたいに話をしないといけない」と。

西台中学校は、校則（ルール）を大幅に見直している学校です。そしてこれからは、校則などの見直しに子どもたちも加わり、「学校は自分たちの居場所」という意識をもってもらいたいと考えています。しかし、それは適当に何をしても良いということではありません。それをする（しない）ことが、「なぜ大切なのか」。それは「人に迷惑をかけないのか」「自分が成長するためにどのように行動したら良いのか」などを考え、判断して行動する力を養うためです。そのためには大人も考える必要があります。「教えること」だけでなく、「一緒に考えること」や「話を最後まで聴くこと」など、今まで以上に子どもたちに寄り添い、個に応じた支援を行うことが必要ではないでしょうか。今回の「居場所づくり」の取組を通して、7年前の道德の授業を思い出してしまいました。

本日で2学期が終わります。令和5年、保護者・地域の皆様には大変お世話になりました。教職員一同御礼申し上げます。令和6年もこれまで以上に、子どもたちへの暖かいご声援お願いいたします。

生徒の活躍

※個人情報保護のため、WEBページ上では氏名を削除しました。

板橋区バスケットボール新人大会

男子の部	優勝	男子バスケットボール部	都大会出場
女子の部	第2位	女子バスケットボール部	都大会出場

東京都 令和5年度「20歳未満喫煙防止・受動喫煙防止ポスターコンクール」

中学生の部 優秀賞 8年 さん

アイデム写真コンテスト2023 はたらくすがた

中学生の部 準グランプリ 7年 さん

板橋区青少年表彰

地域ボランティアの継続	さん
地域ボランティアの継続	さん

板橋区 令和5年度「身近な環境に関する標語及びポスター展」

銀賞	9年	さん
奨励賞	9年	さん
努力賞	9年	さん
努力賞	9年	さん

板橋区 中学生の「税の作文」コンクール

板橋納税貯蓄組合連合会	会長賞	9年	さん
板橋納税貯蓄組合連合会	優秀賞	9年	さん
板橋納税貯蓄組合連合会	入選	9年	さん
板橋納税貯蓄組合連合会	入選	9年	さん

今年も、みなさんよく頑張りました。令和6年も、自分のペースで、いろいろなことにチャレンジし、良い年にしましょう。1月9日 3学期始業式になります。元気に登校しましょう